

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年4月23日

【2018年4月14日～2018年4月20日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対米ドルおよび対円で上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。地政学リスクへの警戒感が後退したことや商品市況の上昇が通貨高に寄与しました。

先週は経済活動指数やインフレ率(IPCA-15)などの経済指標が発表されました。前者につきましては、事前の市場予想が既に前年比+0.8%程度の弱い数字になっていたにもかかわらず、発表された数字はそれを下回る+0.66%となりました。また、後者のインフレ率も市場予想をわずかに下回る結果となりました。これらを受けて、景気回復ペースの鈍化と低インフレ環境の継続により、ブラジル中央銀行が金融緩和サイクルを長期化するとの観測が強まり、ブラジル金融市場では金利低下が進みました。

政治情勢では、ルラ元大統領の収監後にブラジルの調査会社データフォリア(Datafolha)が行った大統領選に関する世論調査が公表されました。この調査によると、ルラ氏が大統領選に出馬できるとの前提の下では、同氏は依然として30%以上の支持率を保持しているとの結果となりました。一方、ルラ氏が出馬できない前提では、極右勢力の支持が厚いボウソナロ氏と、環境主義者のマリナ・シルバ氏がそれぞれ10%台の支持率を確保しており、混戦とされる大統領選において頭一つ抜け出した形となりました。

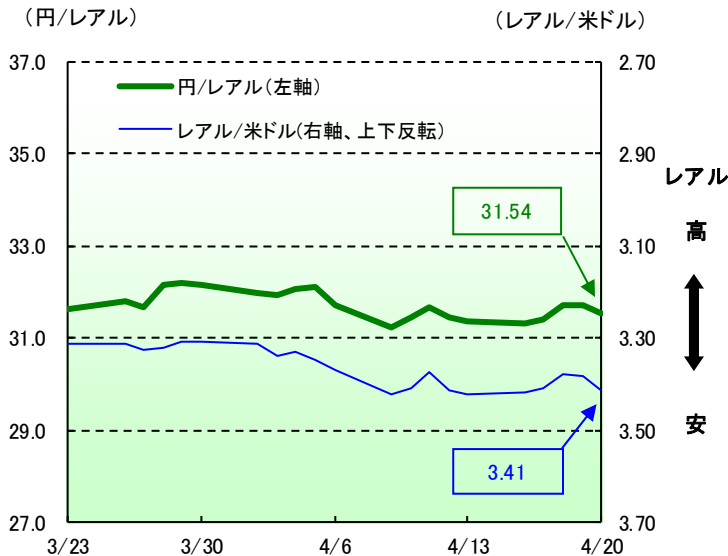
### 【2】今週の見通し

今週は目立った経済指標の発表がなく、ブラジル金融市場は動意の乏しい展開を想定しています。しかし、3%に接近している米国の長期金利が一段と上昇した場合には、新興国市場に対する投資家のセンチメントが悪化する可能性があることには注意が必要です。

政治情勢につきましては、世論調査で上位につけるマリナ・シルバ氏やバルボサ氏が経済構造改革の必要性を示唆するなど、大統領選の各候補者は経済政策への言及を始めており、有力候補の発言内容には一定の注目が集まります。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

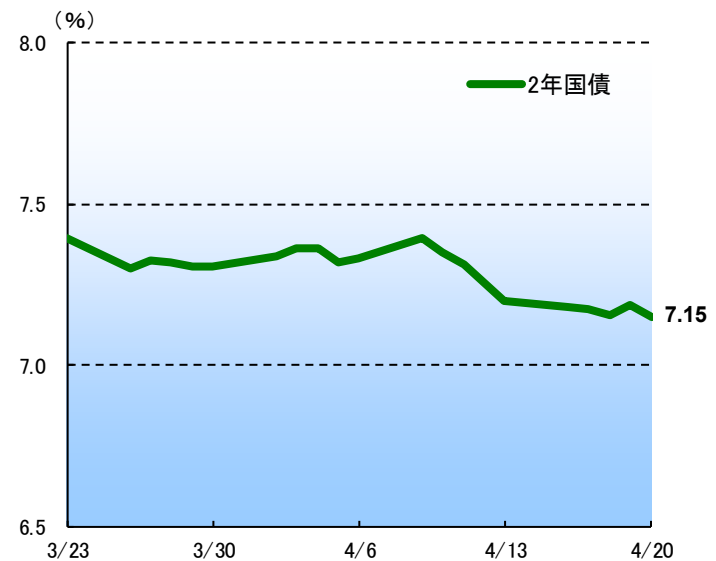
(2018年3月23日～2018年4月20日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年3月23日～2018年4月20日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>